

平成22年度財団法人埼玉県体育協会  
第1回評議員会議事録

日 時：平成22年5月31日（月） 午後14時00分より

会 場：財団法人埼玉県自治会館4階ホール

出席者：中田 次男 北 正三 松岡 幸雄 田中 敏郎 金井 初男  
齋藤 猛 山岸 國伸 小澤 通春 石田 和吉 松尾 薫  
成田 進 上久保重次 武藤 幸政 田中 文男 柴田 孝行  
菅谷 浩之 小暮 宏 三島 久雄 帆足 光代 村田 寛  
加藤 稔 佐々木 浩 戸塚 正二 八木 岩男 山下 文孝  
佐藤 勝美 岩井 定一 石原 茂 伊藤 時男 嶋村 清治  
山崎 正治 瀬尾 直朝 遠山 正博 加藤 弘 内沼 房二  
齋木 茂 山口 靖雄 山崎 俊道 櫛田 啓造 遠藤 克己  
田中 透 坂本 有助 高橋 良衛 吉田 威司 杉山 良樹  
川嶋 正義 佐久間 実 田中 茂夫 鈴木 信彦 大山 忍  
駒崎 秀雄 野口貞三郎 日暮 進 以上 53名

委任者：高橋 明 大石 幸雄 中島 政司 山中 茂樹 野村 博英  
森田 哲士 加藤 仁 安藤 泰雄 小佐井達也 山口 茂  
山口 現朗 元永 厚雄 瀧澤 重彦 飯田 一恵 横山 隆  
岡田 通 湯浅 和彦 石川 勇司 新井 博勝 鈴木 孝児  
日向 昭二 原 サヨ子 岩田 孟 藤間 修一 須加 昇  
岩崎 光司 小島 卓 大野木啓三 以上 28名

代理者：上園竜之介 以上1名

陪 席：櫻井 勝利 森 正博 関根 郁夫 三戸 一嘉 押田 一  
(理事) 小原 敏彦 金子 晃之 齋藤 明博 坂口 信豊 島野 直  
鈴木 征 高橋 利明 野口 省吾 羽田 聡 藤沼 貞夫  
村井 恒夫 諸口 高男 谷古宇勘司 山下 晴海 横川 朝治  
和田 卓 以上 21名

陪 席：田中 美明 (監事)

渋澤重雄スポーツ振興課長 (埼玉県教育局市町村支援部スポーツ振興課)  
以上 2名

事務局：岩崎 充晃 長谷川 伸 栗原 健一 阿部 隆宏 久保 吉史  
以上 5名

あいさつ 上田清司会長 (あいさつ後退席)  
渋澤重雄スポーツ振興課長

定足数の確認

【岩 崎】 評議員 99名のうち出席 53名・委任 28名合計 81名、寄附行為第25条  
第2項により評議員成立を報告。

## 岩崎事務局長から役員を紹介

【岩 崎】 寄附行為第 25 条及び第 16 条第 3 項により議長は櫻井勝利副会長。

【櫻 井】 寄附行為第 27 条により議事録作成にかかる署名人 2 名を指名させていただく。吉田威司評議員・柴田孝行評議員。

## 報告事項

### 財団法人埼玉県体育協会事務局規程の一部改正について

【三 戸】 新会長が、上田清司埼玉県知事になったのを契機に、繁雑だった事務処理を改正した。

現行の事務局規程では、第 14 条で会長の決裁は 1,000,000 円を超える支出、第 15 条で専務理事の決裁は 300,000 円以上 1,000,000 円未満の支出となっている。

それらを、会長の決裁額は 5,000,000 円を超える支出とし、専務理事の決裁額を 300,000 円以上 5,000,000 円までの支出と改定した。

### 理事の所属委員会について

【三 戸】 資料にあるとおり、先般の理事会において平成 22・23 年度の理事の所属委員会が決定したのでご報告いたします。

### その他（公益財団法人の移行について）

【三 戸】 公益財団法人への移行認定は、平成 25 年 11 月末日までが申請期限で、その頃は混雑が予想され認定に時間を要すると思われる。

そこで、本協会は、日本体育協会のスケジュールを参考に、平成 24 年 4 月 1 日に公益財団法人の登記完了を目指し進めていく。

定款については、現行の本協会の寄附行為と、総務員会等で審議している定款（案）と、日本体育協会の定款（案）の比較を示しました。

今後は、寄附行為と定款（案）全文の対比表で進めていく。

最後に、過去 5 年間の理事会・評議員会の出席率を示しました。公益財団法人では、本人の出席が必須（代理出席や委任は不可）となっているので、これらを参考に定款での定足数を定めていきたい。

### その他（第 37 回日独スポーツ少年団同時交流ドイツ団受入日程について）

【岩 崎】 平成 22 年 3 月 25 日の平成 21 年度第 2 回評議員会でご質問のあった、第 37 回日独スポーツ少年団同時交流ドイツ団受入日程について、受入市町村の小鹿野町から日程表が提出されたのでご参照願います。

【櫻 井】 只今の報告事項について何かご質問等ございますか。

【全 員】 なし。

## 協議事項

【櫻 井】 第一号議案平成 21 年度事業報告並びに第二号議案平成 21 年度決算については関連が深いので合わせて説明願います。

### 第一号議案 平成 21 年度事業報告について

【三 戸】 平成 21 年度の主な内容のうち、大きな事柄として、大宮公園にある飛行

塔の施設改善積立金の目的及び積立額の明確化と、それに伴う基本財産の増額。

また、財団法人埼玉県自治会館の解散に伴い、本協会が入居している建物も取り壊しが決定したので、本年度末を目処に、本協会事務局も移転が決定した。なお、移転先は未定。

基本方針は従来どおりで、「競技力向上」と「生涯スポーツ社会の実現を目指す」の二つを掲げた。

事業内容については、事前に資料をお送りし、既にお目通しいただいておりますので、細かな部分は省略させていただきます。

スポーツ振興事業をはじめ、競技力向上事業、スポーツ少年団事業など大きく9つの区分の事業を実施した。

はじめにスポーツ振興事業では、11項目に取り組んだ。

総合型地域スポーツクラブの育成推進では、クラブ育成アドバイザー2名を配置し、その推進に取り組んだ。

その結果、東松山市の（仮称）総合型地域スポーツクラブ唐子設立準備委員会、飯能市の飯能総合型地域スポーツクラブ設立準備委員会、小鹿野町の（仮称）ふあいぶるクラブむてっぼうの3クラブが設立され、合わせて県内に57の総合型地域スポーツクラブが設立された。

郡市町村体育協会連絡会議では、特に昨年度は、高槻市体育協会の落雷事故の問題があったので、主催者賠償責任問題等について協議した他、共通の課題である、体育協会の法人化や総合型地域スポーツクラブの推進等について協議した。

公認スポーツ指導者養成講習会・研修会の開催では、7競技226名が受講し、10月1日現在、本県に登録している日本体育協会公認スポーツ指導者は7,777名で、昨年よりも大幅に増えている。

埼玉県立武道館の指定管理及び活動支援では、株式会社サイオーとともにただ単に管理をするだけでなく、自主事業の武道館祭り、元旦初稽古会、オリンピック競技会金メダリストの少年柔道講習会を支援した。

中でも、オリンピック競技会金メダリストの少年柔道講習会では、古賀稔彦氏を講師に迎え、参加者の他に指導者や保護者などを合わせると1,000名を大幅に超え、大盛況のうちに終了した。

スポーツ大会の支援及び開催では、秩父宮杯埼玉県自転車道路競走大会の支援、第77回埼玉県駅伝競走大会の開催、第22回県民総合体育大会の開催を行った。

県民総合体育大会は、総計540大会、大会参加者総数41万人で、全国にも類を見ない大規模な大会。

大宮公園スポーツランド（飛行塔）の運営では、昨年の入場者総数は97,570名（保険加入者数）。

2009 埼玉県・安徽省テニス競技交流事業では、中華人民共和国安徽省へ20名の派遣と、21名の受入を行った。

競技力向上事業では、直接的な選手強化・育成事業を7項目実施し、それらをサポートする事業を6項目実施した。

第64回国民体育大会では天皇杯第4位を獲得はしたが、9年連続天皇杯第3位以内の目標は達成出来なかった。第65回国民体育大会では、再び天皇杯第3位以内を目指し挑んでいる。

競技団体指定クラブ強化事業では、26競技58のクラブに実施した。

平成21年度から実施した彩の国ジュニアアスリートアカデミーでは、27競技38種別で約2,000名が参加し、次代を担う若者に、定期的且つ継続的な一貫指導を実施した。これらの選手が2年後、3年後に活躍することを期待する。

中・高体連育成強化事業では、全国高等学校総合体育大会及び全国中学校体育大会の成績を記載した。昨年の奈良県で開催された全国高等学校総合体育大会では、一昨年の本県開催「彩夏到来 08 埼玉総体」の活躍に変わらぬ成果をあげた。

全国中学校体育大会では、近年成績が停滞気味だったが若干の盛り返しが出てきた。

埼玉県国民体育大会候補選手強化特別委員の委嘱では、監督や選手が所属する高等学校長と中学校体育連盟会長合わせて143名の方々を御委嘱し、選手強化事業への理解と協力をお願いした。

競技団体長・支援企業等協議会では、支援企業のほか、大学やクラブなど幅広くサポーターを増やし、本県のスポーツ振興に一層のご理解とご支援を賜る。

スポーツ少年団事業では、6項目の事業に取り組み、一番大きな取り組みは、埼玉県スポーツ少年団大会の開催で、12の種目別大会と野外活動の大会を実施した。

日独同時交流事業は、7月25日から8月4日までの10泊11日の日程を、吉見町で受入をしていただいた。

指導者養成・研修事業及びリーダー養成・研修事業では、現在各単位団等で指導している指導者と次代の指導者の養成や研修を行った。

国内交流大会派遣事業では、5つの大会に派遣し、中でも、第28回関東ブロックスポーツ少年団競技別交流大会は本県で開催し、川越市を中心に5競技の大会（大会運営）と派遣を行った。

平成21年度埼玉県スポーツ少年団登録状況は、団数が北海道に次ぎ第2位の1,807団、指導者数は全国第1位の18,339名、団員数は、少子化の影響で60,000人を割ってはいるが、59,684名で全国第1位。

スポーツ科学研究事業では、4項目の事業に取り組んだ。大きな取り組みとして、国民体育大会埼玉県選手団候補選手28競技780名に、問診票によるメディカルチェックを行った。

免税募金活動では、例年より多くのご寄付を頂戴した。

スポーツ振興くじ助成事業は応募しなかった。

広報・普及活動事業では、ホームページを大幅に改善し、ブログ式により情報提供を迅速にしたほか、スポーツ活動や大会の様子を撮影した写真提供の充実と、新たに動画配信を実施した。

顕彰事業は、本協会が推薦したものを含め7つの表彰等を行い、埼玉県体育賞では、582名の方々が受賞された。

栄光賞の栄光旗には、全日本中学校陸上競技選手権大会400メートルリレーで、本県の常盤中学校が保持していた日本中学生記録を、26年ぶりに更新した朝霞市立朝霞第一中学校陸上競技部が受賞した。

財団法人埼玉県体育協会体育優良児童生徒表彰では、1,053校1,934名の児童・生徒を表彰した。

諸会議では、理事会、評議員会等記載のとおり実施した。平成21年度は公益財団法人に向けた会議を総務委員会で実施した。

最後に、平成21年度にご寄付いただいた方々を掲載させていただいた。ご協力ありがとうございました。

## 第二号議案 平成21年度決算について

【岩 崎】 平成21年度の決算についても、事前に資料にお目通しいただいているので、昨年と大きく変わったところを中心にご説明いたします。

貸借対照表から資産の内訳は、流動資産75,630,078円。固定資産は、事業報告にもあったように、基本財産を100,000,000円にして固定資産合計173,518,656円。資産合計249,148,743円。

負債の内訳は、流動負債7,551,683円。固定負債65,842,949円。負債合計73,394,632円。正味財産合計175,754,111円。

貸借対照表総括表は、会計ごとに記載してある。

正味財産増減計算書の一般会計では、施設改善積立金の目的及び積立額の明確化と、それに合わせた新規施設改善積立と基本財産の増額のため、施設改善等引当資産取崩益が大幅に増え、経常収益計は227,604,881円

経常費用では、平成20年度末に退職した職員に退職給付の支払。県民スポーツ振興費では、平成20年度に本県で開催した「彩夏到来08埼玉総体」で配布したキャッチフレーズ入りのハンドタオル分の費用が減った。

スポーツ活動支援事業では、2009埼玉県・安徽省テニス競技交流事業の派遣及び受入の費用が増えた。経常費用123,826,981円。正味財産期末残高161,841,721円。

正味財産増減計算書のスポーツ振興事業特別会計は、競技力向上事業、スポーツ少年団事業、生涯スポーツ振興事業の3つの事業で構成されている。

国庫補助金は、近代五種バイアスロン連合への馬匹管理にかかる費用。県費補助金131,782,775円。日体協補助金等9,232,900円。

受取登録金と受取参加料の大半はスポーツ少年団事業の収益。

経常費用では、選手強化事業費、選手育成費、国際競技派遣費が競技向上事業にかかる費用。

スポーツ少年団費では、県スポーツ少年団種目別大会の開催、全国スポーツ少年団大会等への派遣、指導者・リーダーの養成の費用。

生涯スポーツ振興費では、各種大会への派遣費やスポーツ科学研究費などの費用。正味財産期末残高は 5,309,260 円。

正味財産増減計算書の事業部特別会計は、大宮公園にある飛行塔の会計で、入場料収入は総収入の 15%の 1,750,622 円。経常費用は、土地使用料、什器備品減価償却費。

正味財産増減計算書の学校体育団体等補助事業特別会計は、21,180,000 円全額が県費補助金で、学校体育団体等補助金 2,600,000 円、高体連補助金 8,125,000 円、中体連補助金 5,570,000 円、県体指協補助金 900,000 円、県レクリエーション協会補助金 3,985,000 円への支払補助金。

正味財産増減計算書の免税募金特別会計は、7,700,000 円一般会計へ繰入をし、うち 6,000,000 円を基本財産の取得に充てた。

正味財産増減計算書のスポーツ振興くじ助成事業特別会計は、平成 21 年度は応募しなかった。

財務諸表に対する注記の 4 で、先程来説明に出てきている基本財産及び特定資産の増減額並びにその残高を記している。

基本財産は、中央三井信託銀行に 70,000,000 円。埼玉懸信用金庫に 10,000,000 円。彩の国みらい債を 20,000,000 円で構成されている。

なお、中央三井信託銀行の 70,000,000 円については、今後、ペイオフ対策として分散して保有していく。

財産目録は、保管場所や使用目的、金額等を記載してある。

内部管理事項は、予算現額と決算額及び差異で表記した収支計算書。

【櫻 井】 本日、田中美明監事がお見えいただいているので、監査報告をいただきたいと思います。

#### 監査報告

【田 中】 平成 22 年 5 月 14 日（金）、埼玉県自治会館内において、平成 21 年度財団法人埼玉県体育協会歳入・歳出決算について、会計諸帳簿・証拠書類及び預金通帳等の関係諸帳簿と照合監査した結果、一般会計、特別会計、貸借対照表ともそれぞれ相違なく、かつ適正に執行されていることを確認致しましたのでご報告致します。

【櫻 井】 第一号議案及び第二号議案について何かご質問等ございますか。

【全 員】 なし。

【櫻 井】 お諮り致します。第一号議案平成 21 年度財団法人埼玉県体育協会事業報告並びに第二号議案平成 21 年度財団法人埼玉県体育協会決算について原案のとおりご承認いただけますか。

【全 員】 承認。

【櫻 井】 第一号議案並びに第二号議案は、原案のとおり決しました。

第三号議案 平成 22 年度予算の一部補正について

【岩 崎】 一般会計においては、先般、日本体育協会から、日中テニス交流事業の内示を受けたので、日本体育協会補助金に 1,800,000 円。スポーツ活動支援事業に 1,800,000 円それぞれ補正増したい。

また、平成 21 年度の繰越金が確定したので、繰越金を予備費並と施設改善引当資産取得支出補正したい。

スポーツ振興事業特別会計、事業部特別会計、免税募金特別会計については、平成 21 年度の繰越金が確定したので、繰越金と予備費を補正したい。

【櫻 井】 第三号議案について何かご意見ご質問等ございますか。

【全 員】 なし。

【櫻 井】 お諮り致します。第三号議案平成 22 年度予算の一部補正について原案のとおりご承認いただけますか。

【全 員】 承認。

【櫻 井】 第三号議案は原案のとおり承認することに決しました。

以上全議事を終了し 15 時 11 分閉会

議 長

署名人

署名人